（別紙２）

広報物品使用上の注意事項

１．着ぐるみ

（１）使用前

・装着方法等の**「取扱説明書」**に必ず目を通すこと。

（２）着脱するとき

ア）着脱の際は、更衣室を確保するなど関係者以外（特に子ども）の目に触れないよう注意すること。

イ）着用の際は、素肌が直接着ぐるみに触れないように、長袖、長ズボン、手袋等を着用すること。

ウ）着脱の際は、着ぐるみを破損しないよう細心の注意をもって取り扱うこと。（活動する際も同様である）

（３）活動するとき

ア）当日の会場、天候及び体調等を考慮して適宜休憩をとり、交代要員を配置するなど、無理のない活動計画を立てること。

イ）会場の気温等を考慮し、こまめに水分補給を行うなど、十分な暑さ対策を講じること。

ウ）雨天時は、原則として屋外での使用を控えること。なお、使用中に雨天となった場合は、使用後に清潔なタオル等で水気を拭き去り、十分に乾燥させること。

エ）着用すると視界が狭いため、活動の際には必ず誘導者をつけること。
　また、幼児等にぶつかったり、倒したりする恐れがあるので、急に振り向いたり、急に走り出すことは避けること。転倒にも十分注意すること。

オ）「がんばくん」のイメージを保つため、着ぐるみ着用時は声を出さないこと。また、品位を傷つけるような動きやポーズはしないこと。

カ）誘導者は、着ぐるみをたたいたり、押したりする人がいた場合には、直ちに制止するとともに、再発防止に努めること。

（４）使用後

ア）消臭スプレー等を使用して、風通しの良いところで陰干しし、十分に乾燥させてから返却すること。

イ）汚れた場合は、汚れを十分に落とすこと。

ウ）屋外で使用した後は、靴底の汚れを必ずぞうきん等で拭き取ること。

エ）破損したり、部品を無くした場合は、貸出機関に申し出ること。

オ）返却する際に、**「着ぐるみ使用報告書」（様式３）**を提出すること。

（５）その他

ア）型くずれしないよう、輸送や保管の際には取り扱いに十分留意すること。

イ）身長 170 ㎝以下の人が着用した方が、より可愛らしく見えます。

２．のぼり、横断幕

（１）使用時

ア）荒天時は原則として使用を控えること。
イ）のぼりを設置する際、転倒防止に十分留意すること。

（２）使用後

ア）汚れた場合は、汚れを十分に落とすこと。
イ）雨水等で濡れた場合は、十分に乾燥させること。
ウ）のぼりは、旗、ポール、台を組み立て前の状態に戻し、旗は一枚ずつ折りたたむこと。
エ）破損したり、部品を無くした場合は、貸出機関に申し出ること。